

## 日本脊椎関節炎学会誌投稿規程

### 1. 編集方針

日本脊椎関節炎学会学会誌(The Japanese Journal of Spondyloarthritis)は日本脊椎関節炎学会の機関誌として、脊椎関節炎およびそれと深い関連を有する事項に関する基礎的および臨床的研究を発表する。雑誌はオンライン化し、学会誌配信サービス メディカルオンライン(株式会社メテオ)を利用する。

### 2. 投稿資格と条件

投稿論文は、他誌に発表されていないものとし、本会員はすべて本会誌に投稿することができる。

### 3. 論文の種類

総説、原著、症例報告、集会(厚労省班会議、日本医療研究開発機構 AMED など)、会報(学会抄録集)、雑報(その他の原稿)とする。また、編集委員会は本学会の目的に添う原稿を依頼することができる。

### 4. 論文の採否

論文の採否は複数査読者の意見を参考にし、編集委員会において決定する。

### 5. 総説

総説は原則として編集委員会が企画し依頼するが、投稿も受け付ける。

### 6. 原著

基礎的あるいは臨床的研究に基づく新知見であり、独創的にして未発表のものでなければならない。原稿は原則として本文(引用文献を含む)12,000字以内とし、表、図(写真)は総計15枚以内とする。

### 7. 症例報告

専門医を含め実地臨床医に有益な症例に関する報告を本欄に投稿することができる。原則として本文(引用文献を含む)と図表を合わせて6,000字以内とし、図表は1枚400字として換算する。

### 8. 集会

集会記録は、会議の班長あるいは座長によるまとめ(討論内容を含めた)を集会原稿として受け付ける。

### 9. 補冊

定期号のほかに補冊を発行できる(但し、編集委員会にて検討し、理事長の承認を得る)。

### 10. 論文の構成

- (a) 原著論文は、(1) タイトル、(2) キーワード、(3) 和文抄録、(4) 緒言、(5) 研究対象、方法、(6) 結果、(7) 考察、(8) 謝辞、(9) 引用文献、(10) 図・表の説明文、(11) 英文抄録を、順序に構成する。
- (b) 症例報告は(5)、(6)を症例呈示として記載する。

### 11. 原稿の作成

原稿作成に当たっては、医学雑誌編集者国際委員会(International Committee of Medical Journal Editors: ICMJE)の「生物医学雑誌への統一投稿規程」に原則として準拠する。原稿は和文または英文で記載する。原稿は論文テンプレートをダウンロードし、要項に従って記載する。

- (a) タイトル:論文の種類(「総説」、「原著」、「症例報告」など)、表題(略語を用いないこと)、著

者名(ふりがなつき), 所属機関名, 代表者の連絡先(住所, 電話, FAX, E-mail)を明記する.

(b) キーワード:5 個以内のキーワードを五十音順または ABC 順に記載する.

(c) 抄録:総説, 原著, 症例報告には 400 字程度の簡明な和文抄録と, それに対応する 2 英文抄録(250 語程度)を必要とする. 抄録は背景・目的(Background), 方法(Methods), 結果(Results), 結語(Conclusion)などに分けて記載する. 但し, 総説および症例報告は

(d) 記述は現代かなづかい, かな交り, 横書きとし, 簡明に記載する.

(e) 略語は(b)項のほか, 文中初出のものは全綴りの後( )内に記し, 原則として新しい略語を用いない. ただし, 止むを得ない場合は国際刊行物を参照し, 適切な略語を選ぶ.

(f) 外来語および外国人名で慣用訳のないものは原字そのままを用いる. 動物, 植物, 細菌などの学名はイタリック体にする. 命名法によって属名の最初の 1 字のみは大文字にする. 文中の外来語は固有名詞(人名, 商品名など)を除き, 原則として小文字を使用する.

(g) 薬品名は一般名で記載する(商品名を記載する必要がある場合には初出時に一般名に続け®と記載する).

(h) 度量衡の単位には m, cm, mm,  $\mu$ , nm, pm:l, ml,  $\mu$ l:kg, g, mg,  $\mu$ g, ng, pg などを用いる.

(i) 数を表すにはすべて算用数字を用いるが, 成語はそのまま用いること.(例:一般, 同一, 1 回, 1 度)

(j) 引用した文献は, バンクオーバー方式により, 引用順の番号で関連付け, 引用順に列挙する. 各文献ごとに著者名, 標題, 雑誌名, 年(西暦); 巻:頁一頁, 年(西暦)を明記すること.

[例]

- 1) 辻本正記, 七川歆次, 白倉良太:強直性脊椎炎と HLA-B27. 整形外科 **26**:104-108 (1975).
- 2) Yamaguchi A, Tsuchiya N, Mitsui H, et al. Association of HLA-B39 with HLA-B27-negative ankylosing spondylitis and pauciarticular juvenile rheumatoid arthritis in Japanese patients. Evidence for a role of the peptide-anchoring B pocket. *Arthritis Rheum.* **38**:1672-1677 (1995).
- 3) Fitzgerald O. Psoriatic arthritis. In: Firestein GS, Budd RC, Gabriel SE, McInnes IB, O'Dell JR, editor. *Kelly's textbook of rheumatology*, 9th edition. Philadelphia: Elsevier Saunders; p.1232-1250 (2013).

[注意]

- 1) 著者が 3 名を超える場合は, 筆頭 3 名を記してあとは「ほか」あるいは「et al.」とする.
- 2) 欧文誌名は Index Medicus 採用の略称を使用し, イタリック体にする.
- 3) 学会発表のみのものを文献として引用する場合は, 学会誌に抄録として掲載されたものを採用する.

(k) 表図の題名および説明は和文で記す(例:表 1, 図 1(写真を含む)). 表の題名はその上部に記し, 説明はすべて下部に簡明に記載する. 図はその下部に記載する.

(l) 既発表の図(写真を含む), 表, その他を引用, 転載される場合には, あらかじめ著作権所有者の許可を得ること.

(m) 個人情報保護に観点から, 「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者個人情報保護に関する指針」(外科関連学会協議会)および 2015 年改正の個人情報保護法を遵守する. 症例報告については公表に関して患者の同意を取得する必要がある.

(n) ヒトを用いた実験及びヒトゲノム・遺伝子解析に関する研究については, ヘルシンキ宣言を遵守し, 当該施設の倫理委員会の承認を得て行い, その旨を方法の項に記載する.

(o) 動物実験については、日本学術会議の動物実験の適正な実施に向けたガイドライン(2006年6月1日)に従って行い、その旨を方法の項に記すこと。

(p) 上記に反した原稿は掲載されない。また出版後に反している事実が判明した場合も掲載削除される。掲載に関する上記の如何なる問題に関しても、その責任は著者にあり、当学会はそれを負わない。

## 12. 電子メディアでの提出

論文テンプレートを用いて、Windows または Macintosh で作成した原稿(本文と図表)を保存し、メールにより提出する。本文と表はマイクロソフトワード®で作成し、図・写真はマイクロソフトパワーポイント®ファイル、あるいは.tif または.eps ファイルで作成したものをテンプレートに貼り付ける。表紙ページに著者名、使用 OS、ワードのバージョン、図・写真のソフト名、バージョンを明記する。採用決定後、提出された図・写真の解像度によっては印刷用の高解像度のファイル(300dpi 以上)の提出を求められることがある。

## 13. 利益相反に関する開示書の提出

投稿論文の研究について、他者との利害関係の有無を記載した利益相反(conflict of interest)に関する開示書(別紙規定書式)を提出する。本書類は論文の採否には影響しないが、論文が本会誌に掲載される際に明記される。

## 14. 原稿の送付

電子メディア 1 部をメールにて送付記録が残る方法で送付されたい。投稿者が原稿をメール送信する際、CC を利用して同時に確認送信し、その受信記録を残しておくことも一つの方法である。

送付先: 日本脊椎関節炎学会事務局 宛. 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科(整形外科)学教室内, TEL:06-6210-8444, FAX:06-6210-8447, E-mail: [info@spondyloarthritis.jp](mailto:info@spondyloarthritis.jp)

送付後は、事務局より直ちに投稿原稿番号が返信される。

## 15. 校正

PDF 化した電子媒体で発行するため、投稿規定を外れた記載に関しては査読者が指摘するが、掲載論文の最終校正は著者の責任おいて行う。

## 16. 掲載料

掲載料は無料とする。

## 17. 別冊

日本脊椎関節炎学会会員は、PDF 化した掲載論文をホームページからダウンロードできる。ただし、会費納入者に限られる。

## 18. 著作権

掲載論文の著作権は本学会に帰属する。